

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所
協働推進課



みなとっふ

Takanawa
Community News Magazine

CONTENTS

② 街が変わる

港区立高輪保育園
港区立高輪児童館
港区立高輪いきいきプラザ
キッズタイム

③ この街にこの人あり

写真家
白川 義員さん



④ ⑤ 文学散歩

小説の中の高輪地区

⑥ ⑦ 私の自慢・地域の自慢

家具デザイン 大倉 富美雄さん	書道とコーラス 栃木 多計子さん
格闘技サンボ 安東 努さん	ボウガン 井上 泰伯さん
ポストンマラソン 山田 市雄さん	手芸ボランティア 赤木 たか子さん

表紙絵

『グランドプリンス高輪貴賓館 (旧竹田宮邸)』
益田 和雄さん (高輪在勤)



「つながるまち」へ

季節の移り変わりは速く、もう夏も盛りを迎える頃となりました。自然の営みはあらゆるものを乗り越えて進行していくようです。

東日本大震災から早くも5ヵ月近くが経過しました。未だ痛み、苦しみの中に身を置く方々が少なくなく、解決できない問題も山積している中、新しい生活の芽も力強く育ち始めようとしています。

今回の震災は、私たちに実にさまざまな教訓を与えてくれました。そのひとつは、私たちはひとりで生きているのではない、またひとりで生きられない、ということです。地域に生きることの大切さを改めて教えてくれました。

日本中いたるところで、助け合いの精神が生まれ、誰もが「自分ができることはないか」「自分に何ができるか」を自身に問いかけたはずで、困っている人を何とか助けたいと、実際に被災地に飛んでボランテ

ィアを行った人もいれば、後方支援としていろいろな活動に参加した人もいるでしょう。あるいは、その思いを実際の行動に移せず歯がゆい思いをした人も多かったかもしれません。しかしそこに共通しているのは、自分のことだけではなく地域の一員として考え、行動しようとしていることでした。市民社会が明確なうねりをもって、ある目標に向かって動き出そうとしています。

今、私たちに必要なこと。それは、この災害を通じて生まれた人と人がつながり、支えあう力を見失うことなく、自分自身、地域の一員として生きていくことの大切さを自覚することです。私たちも高輪地区で「つながるまち」を創ろうではありませんか。

「みなとっふ」もこのつながるきっかけになれば、と願っています。

(担当 / 谷知)

街が変わる

高輪地区の街は日を追って変わっています。このコラムは変わりつつある街の姿を、完成したあるいは、これからできる公共公益施設、道路、公園、開発



計画などからご紹介していきます。今回はオープンしたばかりの港区立高輪保育園・高輪児童館・高輪いきいきプラザの複合施設をとりあげます。



港区立高輪保育園・港区立高輪児童館・港区立高輪いきいきプラザが新しくなりました

高輪公園に面し、東禅寺に隣接する場所に、港区立高輪保育園・港区立高輪児童館・港区立高輪いきいきプラザの複合施設ができました。保育園は3月22日、児童館といきいきプラザは4月1日にオープンしたばかりで、どれもまだピカピカの施設です。

施設は、高輪公園、東禅寺、高輪プリンスホテルなどの緑がいっぱいの環境に恵まれています。コンクリート打ち放しの外観のおしゃれな建物で、地下1階から3階まで、3つの施設を巧みに

組み合わせています。

保育園は1階と2階の一部を、児童館は3階の一部を、いきいきプラザは地下1階、1階、3階を利用しています。共通にだれでも使える場所として1階に素敵な喫茶コーナーがあります。お昼には、ランチ、カレー、スパゲッティが楽しめます。

園児や児童の元気な声に、お年寄りも若返るようで楽しそうです。複合施設のメリットを生かす本格的な利用の仕方はこれからの課題です。



緑いっぱいのテラス



子どもたちの笑い声はじけるスペース

●高輪保育園

148人定員のうち、138人(6月1日現在)が入園しています。この保育園は目の前に高輪公園があり、公園で遊ぶことができ、港区でも特に優れた環境に恵まれた保育園です。複合施設の利点を生かし、児童館の遊戯室も利用しています。夏は中庭にプールが設置されます。

年齢別に部屋が分かれており、共通のスペースに広い遊戯室や絵本コーナーなどがあります。

●高輪児童館

児童館は0才児から18才まで利用できる施設で、学童クラブ、遊戯室、工作室、図書コーナー、キッズルームがあります。屋上には、ローラースケート場があります。小学校低学年が放課後利用する学童クラブは55人の定員ですが、14人の待機児童がいます。学童クラブでは、毎日おやつが食べられるそうです。

キッズルームでは、乳幼児と保護者のためのキッズタイムを週2回設けており、工作、親子体操、お話し会、ゲーム、公園遊びなどを行っています。



高輪児童館

高輪保育園



乳幼児と保護者が楽しく過ごせるプログラムのご紹介

キッズタイム



地区にある児童館では、乳幼児と保護者のための音楽、体操、工作等のプログラムを実施しています。その一つである高輪児童館のキッズタイム(月・金曜午前10時45分～11時45分)を見学しました。

お訪ねした時、遊戯室に多くのお母さんと乳幼児が集まっていました。乳母車に乗った0才児の親子も何組もいました。

職員の指導で6月10日(時の記念日)にちなみ、紙で時計のプレスレットを製作したり、遊戯室でお母さんと乳幼児が1組になり音楽に合わせて体操をしたり、歌ったり、盛りだくさんな活動が行なわれました。子どもも親もとても楽しそうに、遊び、歌い、踊っていました。イベントの後、キッズルーム備え付け遊具の三輪車や手押し車で子どもたちが部屋じゅうを元気に動き回る姿を、若いお母さんたちは遠巻きに見ながら歓談していました。

また、7月には「親子体操」「七夕飾り作り」「おはなし会」「ミニミニアスレチックであそぼう」「えのぐを使ってあそぼう」のプログラムを開催しました。館長のお話では、「ほとんどの活動は参加無料です。人気のプログラムは、定員一杯になることもあり、事前申し込みが必要なきもあります。区ホームページでご確認ください。また、地域のボランティアグループ(読み聞かせ等)で活動している方々の参加も歓迎します」とのことでした。

(<http://www.city.minato.tokyo.jp/kosodate/sisetu/takanawa/kidstime/index.html>)

イベントに参加している保護者の方からお話を伺いました。

「幼稚園に入るまで、この施設を利用したいと思います。きれいで、すばらしい施設を利用できることに感謝しています。子ども同士、また親同士の友だちが増えてよかったです。子どもの成長のためにも、家の中で一人で遊ぶより広い場所で大勢の仲間と遊ぶ方がよいと思います。プログラムもよくできていると思います。また、親同士、子育ての情報交換ができ、参考になります」とのことでした。

●高輪児童館 港区高輪3-18-15 Tel 3449-1642

年配者も元気にパワーアップ

●高輪いきいきプラザ

高輪福祉会館が、名前が変わるとともにすっかり施設も生まれ変わりました。港区在住で60才以上の方ならどなたでも利用できます。

どの部屋も、とてもきれいで使いやすいですが、まだまだ施設の利用者は少なく、もったいないようです。



1階集会室A	22人定員で会議、勉強会などができます
3階集会室B	和室で、お茶の道具もそろっています。ヨガ教室(第2・4月曜午後1時30分～3時)が人気です。
3階敬老室	テレビや電位治療器を備えており、屋間は60才以上の区民の方であれば、無料で自由にくつろぐことができます。
地下1階健康トレーニング室	各種トレーニング機器があり、指導も受けられます。また、通信カラオケがあり、舞台上で歌うこともできます。カラオケ教室は、第2・4水曜午後1時30分～3時30分で講師の人から指導が受けられます。
地下1階浴室	旅館のお風呂のように、広くてきれいです。男性は火・金曜、女性は月・木曜(午後1時～4時)に利用できます。

利用料金は以下の通りです。

(※敬老室の午前・午後以外は、港区在住・在勤者の利用可能)

室名	広さ(m ²)	定員(人)	利用目的	午前	午後	夜間
集会室A	40	22	会議・勉強会等	900円	1100円	1500円
集会室B	24	15	雑・打ち合わせ等	600円	800円	1100円
敬老室	50	30	会議・勉強会等	無料	無料	1900円

この街にこの人あり

写真家 白川 しらかわ

義員 よしかず さん

『地球の美しさを世界中の方々に伝えたいと思います』

高輪にはどの位住んでいますか、また、この地域のご感想は？

45年前から住んでいます。隣に石油王と言われた山下太郎さんの家があり、引越した時、ごあいさつにうかがいました。座敷から東京湾が一望できて凄いいと思います。その頃よく、京都から帰る時新幹線から眺めていると、東京には随分緑が多いところがあるなあといい、よく見ると自分の家のあたりなのに気がつきました。(笑)

写真家を志したのはいつごろからですか

中学生の時、図書委員になりました。いろいろな本を読む機会がありました。3年間で「日本文学全集」と「世界文学全集」を全部読みました。特に、「アサヒカメラ」という写真雑誌は、当時、アメリカの雑誌「LIFE」の写真を転載していました。その写真を見て感動し、今に写真は文学を超える表現になるかも知れないと単純に考えたのです。なぜなら、文学は一人の頭の中の作りものでしょう。しかし、写真は現実そのものですから。それで写真家になる決心をしたのです。学校が備品としてカメラを買ってくれたので、それで写真を撮ったり自分で現像や引伸ばしをしました。

お父さんは写真家になることに賛成されましたか

当時、写真家なる職業はなく町の写真館しかなかったので、写真館のおやじになるのかと父にひどく怒られ勘当されてしまいました。父は私を政治家にしようとしていたのです。

大学は、写真学科に入り写真の勉強をしました。父は援助してくれないので、母がひそかに仕送りをし、あとはアルバイトでなんとか、生計をたてていました。

世界の自然を撮影するようになったきっかけは

フジテレビに在職中、中日新聞社から日曜版の表紙写真の連載を依頼されました。

海外旅行が自由化される前でフジテレビは、休職扱いにしてくれました。その時に、8カ月間、35カ国の世界一周の撮影旅行をしたのがきっかけです。帰国と同時に、フジテレビを退職し、フリーのカメラマンになりました。今までに、143カ国の風景の写真を撮り続けました。

英語など外国語はどのようにマスターされましたか

ニッポン放送時代、外国人のタレントを起用する番組をプロデュースした時、外国人からお前の英語はわからないと言われる



て発奮し、会社に内緒で英会話スクールに通ってマスターしました。イタリア語も話すことができましたが、使わないと忘れやすね。

アメリカを紹介する写真集「ETERNAL AMERICA(永遠のアメリカ)」を出版されていますが

建国200年の記念事業の一つでアメリカ政府から依頼されたのです。外国の写真家を起用するのがアメリカの役人らしいですね。この写真集が出版されてから、アメリカを訪れる観光客が急増し、またアメリカのイメージアップに貢献し、アメリカ政府からとても感謝されました。

全米写真家協会最高写真家賞を受賞されましたね

1981年46歳の時、受賞しました。写真史上10人目です。外国では、写真のノーベル賞といわれています。「あなたの作品群は、人々の思想や人生に大きな影響を与える貢献をしました」という受賞理由がとても私にとつてうれしかったです。

南極大陸撮影旅行に行かれたのですか

1993年人類史上初めて、83日間かけて南極大陸一周に成功しました。南極に滞在したのは1991年から2シーズン330日間です。当初、アメリカ政府が「永遠のアメリカ」の恩返しに撮影終了まであの巨大な輸送機C1301機を私の専用機として無償で提供してくれる破格の支援が決まっていた。しかし、それを聞きつけた日本の一部の人たちから横やりが入り、なんと15年間も続けたのです。それで方向転換して、結局日本とアメリカ以外の7カ国15基地の支援を受けて南極大陸一周に成功したんです。

世界の百名山は、白川さんが企画されたのですか

そうです。プロになった直後の1965年の企画です。でも、当時、地球上の山は高さも所在も確定していなかったのです。それがランドサットの出現ですべての山が出そろいました。

前人未踏の仕事は全部日本人がやるべきですから、すぐスタートしたんです。

百名山を選ぶのには、ヒラリー・卿など世界11カ国の著名な山岳家11人のメンバーにより決めました。

百名山はどのようにして、撮影されるのですか

ほとんどの山を航空機やヘリコプターから撮影しています。航空機から命綱と酸素マスクをつけ、大気中に身を乗り出して撮ります。8000m上空だと、外気は零下50度です。

でも、撮影するよりさらに大変なのは、撮影の許可をとることなのです。紛争中のところが多く、ほとんど不可能と言われた国には何年間もかけて許可をとりました。撮影の苦勞を5%とすれば、許可をとる苦勞は95%です。

撮影の許可をとる秘訣は

普段からの人のネットワークが大事なのです。わたしは世界中にネットワークがあるの、直接その国に行つて、その国のキー・パーソンにお会いして頼むこともあります。

取材費もかかるでしょうね

百名山はほとんど航空機から撮るため、取材費は膨大で、全部で4億5千万円になりました。南極はアメリカの支援をつぶされたため6億5千4百万円かかりました。半分は、企業からの助成金でまかないました。

撮影の時、危ないことはありませんか

撮影は命がけでやっているので、いつも死と隣り合わせです。1997年乱気流の巣と言われるエベレスト東壁を航空機から撮る時、乱気流に巻き込まれ椅子ごと吹き飛ばされ、首や背中や腰の骨を折り、カトマンズの病院で応急治療の後、神奈川県厚木病院で9時間の手術を受け奇跡的に助かりました。第5頸椎の骨などバラバラに砕けていたのです。

この事故にあった時の様子は、気を失っていて全く覚えていないのですが、翌年、ヘリで撮影しようとした時、恐怖で目もあけられないほどでした。私の記憶にはないことを細胞の一つ一つの遺伝子が覚えていたのでしょうか。

命をかけて、写真を撮るのはどういう気持ちからですか

人間の力や思考など及びもつかない自然に対する畏怖の念とこの自然の美しさを世界の人々に伝えたいという気持ちからです。自然とは何か人間とは何かを考え

る端緒の一つになってほしいとの願いからです。猿人が300万年前精神革命を起こして、人類になったのは自然に対して原始的信仰心を持ったからです。宗教心こそが今改めて重要なのです。

今後どんな企画をお考えですか

地球再発見シリーズは、生涯で12作つくことを決めています。今までに、10作が完成し、現在、「永遠の日本」が最終段階です。来年小学館から出版されます。

生涯最後のシリーズは「天地創造」を考えています。

取材を終えて

白川さん、世界的な著名人にもかわからず、終始笑顔で本当にきさくにインタビューに応じてくださいました。白川さんが一枚の写真に生死をかけ、魂をこめて撮られているその気力と情熱に圧倒されました。肌もつやつやして、全く年齢を感じさせない方でした。世界で活躍されているこんな素晴らしい日本人がこの地域にいらつしゃるのを、私たちが誇らしく思い帰途に着きました。

(担当/安藤・高橋・河村・滝川)

白川 義員 (しらかわ よしかず)

1935年愛媛県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業後、ニッポン放送、フジテレビを経て、フリー写真家となる。山岳、聖地、大陸などをテーマに143カ国を撮影取材。1972年作品集『ヒマラヤ』により第13回毎日芸術賞、第22回芸術選奨文部大臣賞、1981年全米写真家協会(A SMP)最高写真家賞、1988年第36回菊池寛賞、1995年『南極大陸』により第27回日本芸術大賞を受賞。1999年紫綬褒章を受章。作品集に『アルプス』『ヒマラヤ』『アメリカ大陸』『聖書の世界』(三部作)『中国大陸』『仏教伝来』『南極大陸』『世界百名山』『世界百名瀑』など多数。夫人は舞踊家・西崎緑さん。



承教寺



聖坂



三田4丁目の桜の樹



高輪ピーコック横の急な坂道



高輪の旧細川家



桂坂



高輪薩摩屋敷跡(現：森の公園)

- ⑬ **なんとなく、クリスタル** 1983年 田中康夫
主人公の女子大生が気ままに散歩する境界として**自然教育園**、**東禅寺**などが描かれている。
- ⑭ **二重裁判** 1986年 小杉健治
高輪の閑静な住宅街でワンマン社長夫妻が殺害され、**高輪南署**の刑事が活躍する。
- ⑳ **春風無刀流** 1987年 津本陽
西郷隆盛は駿府より江戸に出たのち、**高輪薩摩屋敷**で山岡鉄舟と勝海舟に面会した。**(高輪薩摩屋敷跡は、「旧ホテル・パシフィック東京」付近一帯)**

- ㉑ **小春日和** 1988年 金井美恵子
白金に住む小説家のおばさんと田舎から出てきた大学生の姪と一緒に暮らす物語。**白金境界**が楽しい。
- ㉒ **隅田川殺人事件** 1989年 内田康夫
浅見光彦シリーズ第3弾。桜咲く隅田川を舞台に**白金の八芳園**で挙式予定だった花嫁失踪事件の謎にせまる。

- ㉓ **記憶の絵** 1992年 森茉莉
「**三田台町の食卓**」「**三田台町の降誕祭(クリスマス)**」モダンで裕福な実家・婚家(**三田台町**)の楽しい日常が描かれている。父は森鷗外。

- ㉔ **ねじまき鳥クロニクル** 1994年 村上春樹
主人公の僕と加納マルタが**品川**、**旧ホテル・パシフィック東京**1階のコーヒールームで待ち合わせをする場面がある。

- ㉕ **じっとこのまま** 1995年 藤田宣永
白金境界を舞台に、戦後を生きた男たちの喪失の悲しみを乾いた叙情で、描き出している。

- ㉖ **夏の終わりの林の中** 1995年 保坂和志
自然教育園の中だけで、ストーリーが展開する小説。

- ㉗ **永遠の都** 1997年 加賀乙彦
二本榎を舞台に、主人公の幼稚園時代から、終戦後間もない昭和22年までの、東京山の手の生活を描いている。

- ㉘ **桜の樹の下で** 1998年 渡辺淳一
京都の料亭の女将であるヒロインが、東京に出店する為の住居に選んだのが、**三田**のマンション。その周辺の**伊皿子・聖坂・御田小**の様子がやわらかい雰囲気で見られている。

- ㉙ **坂ヲ跳ネ往クドクロ** 2002年 物集高音
「残務深更に及びて此の時刻の帰途と相なりしが、其の途次、三田君塚町は**天神坂**を上り掛るに、眼前を二個の生首がピョンピョンと飛び交うを目にして、肝を潰し・・・(祥伝社刊)」

- ㉚ **深川駕籠** 2002年 山本一力
深川駕籠かき・飛脚・鳶・千住の駕籠かき4名、深川から**高輪大木戸**まで往復三里の足比べで復路では、大川を泳いで渡るといふ趣向が凝らされている。

- ㉛ **anego** 2003年 林真理子
商社に勤めるOLが華やかな独身生活を送るなか、友達とのランチに**プラチナ通り**のレストラン、恋人との待ち合わせ場所に**高輪のホテル**などが登場する。

- ㉜ **「東海道をゆく」十時半睡事件帖** 2006年 白石一郎
福岡藩江戸藩邸で江戸総目付役を務める十時半睡が東海道を陸路国元へ帰ることとなり、「旅立ちの日に、**高輪の大木戸**を出、品川へ向かう道の左側は波打ち際であり、二町も歩けば**泉岳寺の門前**の広場がある(講談社刊)」と当時の地形が描かれて興味深い。

- ㉝ **魔物が棲む町** 2010年 佐藤雅美
江戸時代、**高輪如来寺**の住職に赴任した快鶯を待ち受ける様々な難問。(如来寺は寛永年間に芝高輪に創立され、明治41年に現在地品川に移転した。)

(担当 / 伊関・明石・吉田・河村)



Literature Walk

文学散歩

小説の中の高輪地区

この地域はさまざまな作品の中に登場しています。古くは平安時代の更級日記に竹芝寺として、聖坂の済海寺の名が見られます。直接地名が取り上げられているものもあれば、背景として描かれている所もあります。ここでは主に、小説の中に描かれている場所をリストアップしましたが、皆さんもよくご存知の鉄道唱歌をはじめ、歌舞伎・落語・和歌・俳句・川柳などにも数多く見られます。また70年代にヒットした歌謡曲「別れても好きな人」の歌詞にも、高輪が出てきます。歌の中の2人がどの辺りを歩いたのかを想像しながら、是非皆さんもお歩きください！



❶ 駅夫日記 1907年 白柳秀湖
明治末期の**白金今里町**、**三田**、**品川停車場**・**プラットホーム**等が自然豊かに美しく描かれている。

❷ 安井夫人 1914年 森鷗外
小説「安井夫人」は**東禅寺**の墓地にあった安井息軒夫人の墓のことを書いている。しかしその墓碑は現在はない。

❸ 日和下駄 1915年 永井荷風
一名、東京散策記とも言われ、荷風の愛した東京の市中を思いのままに散策し、その中に**二本榎**、**高野山**、**白金**、**瑞聖寺**、**古川**などが登場する。

❹ 白金之絵図 1916年 泉鏡花
聖心女子院(現・**聖心女子学院**)・**三光坂**・**雷神山**・**火薬庫**(自然教育園)などの白金辺りが、江戸文芸の影響を深く受けた怪奇趣味と、鏡花特有のロマンチズムで描かれている。

❺ ある日の大石内蔵助 1917年 芥川龍之介
討ち入り後、**高輪の細川家**に預けられていた時の大石を描いた、龍之介らしい人間心理の微妙な部分を鋭く突いた好短編。

❻ 画家仙波均平氏 1920年 水上瀧太郎
「三田文学」の編集に尽力した水上瀧太郎(**御田小学校出身**)の文学最高傑作とされる「貝殻追放」に収録されている。仙波氏が居住していた**白金猿町**が綺麗に豊かに描かれている。

❼ 作品の血脈 1939年 宮本百合子
岡本かの子の突然の訃報に雪の降る日、**芝白金**の坂の裏側の町筋へ出て妙なところでおりて家に辿りつく場面がある。

❽ 女坂 1939年 円地文子
桂坂の上にある白川男爵の家を舞台に、孤立無援の生涯を生きた明治の女を描いた円地の代表作。

❾ 白描 1940年 石川淳
日中戦争に向かって緊迫を深めていく時代を背景に、**二本榎**を舞台として、美を求めて生命を燃やす人々の姿を浮き彫りにする。

❿ 心の歴史 1949年 佐々木邦
小説に登場する「**白金学院**」は彼の学び舎であり教鞭を取った**明治学院**がモデルである。ユーモア小説の先駆第一人者。

⓫ 宴のあと 1960年 三島由紀夫
白金台の般若苑という料亭を舞台とする小説で、日本初のプライバシー裁判となる。

⓬ 父の乳 1966年 獅子文六
主人公の“私”が初めて**二本榎の通り**でお会式の万燈を見、太鼓の音を聞く場面がある。「父の乳」は獅子文六の自伝とされている。

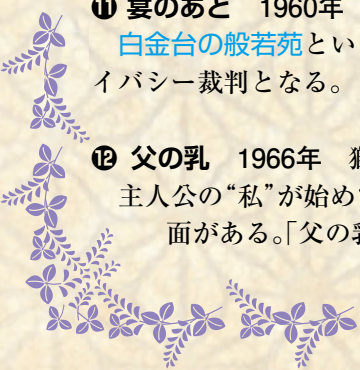
⓭ 鬼平犯科帳 1967年 池波正太郎
ご存知鬼平が、**済海寺**・**等覚寺**(**高輪一丁目**)・**承教寺**・**国昌寺**(現・東海大学附属高輪台高等学校付近)などで活躍! 部屋住みの鬼平を何とか支援した先代・細井彦右衛門を師と仰いだ長谷川伸に重ねている。

⓮ 坂上の雲 1969年 司馬遼太郎
秋山真之は季子と結婚し、**芝車町32番地**に居住していた。屋敷跡は現在の東海大学附属高輪台高等学校。

⓯ 病院坂の首縊りの家 1975年 横溝正史
<金田一最後の事件>
原作の舞台は、**高輪ピーコック横の急な坂道**で、付近の建物や路地の描写・位置などが正確で、横溝自身が取材をした状況がうかがえる。

⓰ 火の柱 1977年 木下尚江
「目を挙げて見れば、遠く連なる**高輪白金の高台**には樹々の梢すでにヤヤ黄を帯びて朝日に匂いみれば(筑摩書房刊)」と遠くから見る高輪白金の高台の様子を詩情豊かに描いている。

⓱ あ・うん 1981年 向田邦子
昭和初期の山の手を舞台に(主人公が**芝白金三光町の借家**に居住)神社の狛犬の阿と吽にたとえられる2人の男性周辺の間人模様を中心に、庶民の暮らしを描いている。



身の回りにはこんなすばらしい人がいる、こんなおもしろい人がいる、こんなすてきなお宝がある、こんな特技があるなどなど何でも結構、地域の特ダネをご紹介します。今回は6人の方に登場していただきました。事の大小、自薦他薦を問いません。これをぜひ紹介して、というネタをお持ちの方、ぜひご一報を！

ボウガンで養われた集中力

井上 ^{やすのり} 泰伯さん(高輪警察署)

パトカー勤務という超激務をこなす井上さんは、ボウガン競技で全日本選手権団体戦、個人戦いずれも入賞という輝かしい競技歴の持主。ボウは弓、ガンは銃という名の通り弓と銃を組み合わせたボウガンは、ヨーロッパで長い歴史を持ち、日本に入ってきたのは40年ほど前。大学時代にこの競技の魅力を知った井上さんは、警視庁に入ってから仕事の合間に練習に励み、今や日本を代表する選手に。来年ドイツで行われる世界大会出場を目指しています。がんばれ、井上さん！



「特養」で13年間 手芸ボランティアに励む

赤木 たか子さん(高輪在住)

港区の特別養護老人ホームで13年間にわたり、刺し絵や折紙等を、毎週1回教え続けています。「高齢者の方々の熱心さと、個性を生かした作品を作り出す事が、自分の仕事のトレーニングになり長続きしたのだと思います。作るに当たって大人の鑑賞に耐えられるもの、飾り物ではなく使えるものをモットーに教えています」とのことでした。



アヤレネシュさんおすすめ ~エチオピア料理~

Tibs Wat ティブスワット (牛肉の煮込み)

コーヒー発祥の地として有名なエチオピアには、ティブスワットという料理があります。ちょっと辛く、メキシコのチリコンカンに似た味です。

「Tibs」とは肉や野菜を焼いたもので、「Wat」とは肉や野菜、豆を煮込んだ料理の総称です。エチオピアの家庭では、クレープ状のパン「Injera: インジェラ」と一緒に食べます。インジェラは、テフという穀物の粉と水を練り、数日間発酵させ、蒸し焼きにしたものです。独特の酸味で、表面に気泡があり、もちりとした食感です。

写真のものは米粉が入っているので白っぽいですが、通常はグレー色です。日本で作るのは難しいため、代わりにクレープや酵母パンなどで食べても美味しいと思います。



材料 3~4人分

玉ねぎ(みじん切り) ……………	700g
牛肉(細切り) ……………	500g
にんにく、しょうが(みじん切り) ……	一片
サラダ油 ……………	30ml
レッドペッパー ……………	大さじ1
トマトペースト ……………	150g
ティクル・ケメム ……………	適宜
(スライスして乾燥したにんにく・しょうが)	
エチオピアバター ……………	200g
(バターと数種のスパイスをあわせたもの。普通のバターでもよい。)	
お湯 ……………	125ml
メケレシャ ……………	適宜
(クミン、黒胡椒、カルダモン、シナモンなど数種の香辛料を砕き、混ぜたもの)	
塩 ……………	適宜

作り方

- ①厚手の鍋に玉ねぎを入れ、弱火でしんなりするまで炒める。
- ②にんにく、しょうが、サラダ油を加えて、20分ほど炒める。
- ③レッドペッパー、トマトペーストを加え、弱火で30分ほど煮込む。
- ④ティクル・ケメム、エチオピアバターを加えて、さらに煮込む。
- ⑤4を煮込んでいるあいだに、熱したフライパンで牛肉を炒める。
- ⑥4に、5を加える。
- ⑦お湯を加え、弱火で30分ほどコトコト煮る。メケレシャ、塩を加え、味を調える。
- ⑧インジェラを手で少しずつちぎって、包んで食べる。

(担当 / 滝川・三村・中嶋)



エチオピア大使館シェフ
Ms. Ayalelesh Lemma
アヤレネシュ レンマさん

私の自慢・地域の自慢

デザインした家具が 本場イタリアで商品化

大倉 富美雄さん(白金台在住)

大倉さんは建築家(現在、日本建築家協会港地域会代表)で工業デザイナー。東京芸大卒業後、アメリカで活動し、さらにイタリアへ。10年間居住し、建築とデザイン両方の実務に取り組みました。そこで照明器具などとともに手がけたのが家具。そのひとつ「MOMO」が当時から有名だった家具メーカー・アルフレックスで商品化されたのです。日本では販売していませんが、「競争が激しい本場で、日本人の作品が認められたのは嬉しかった」と大倉さんは懐かしそうに語っていました。



格闘技サンボで 日本代表を目指す

安東 努さん(高輪消防署)

サンボという競技は、柔道とレスリングを組み合わせたような格闘技で、ロシアの国技です。高輪消防署に勤務する安東さんがサンボを始めた動機は、中学生から22年間続け、国体選抜選手に選ばれたラグビー。そこで果たせなかった「日本代表」選手になるためと、奥様と娘さんに勇姿を見せたいという気持ちからです。今年2月にサンボトリアル62キロ級の大会で準優勝しました!現在は、10月に行われる大会での優勝を目指して、日々練習に励んでいます。



日本人初!! 連続20回ボストンを走る

いちお
山田 市雄さん(高輪在住)

山田市雄さんがボストンマラソンを走るようになったきっかけは息子さんの留学先であるボストンを訪れたこと。社会人になってから始めた競技マラソンランナーの夢を実現したく46歳で初めてボストンマラソンに参加、以来今年の115回大会まで連続20回「有資格選手」として出場、これは日本人初です。

65歳の現在も会社経営の傍ら毎日15km以上を走るなど訓練を怠らず、「世界で1番歴史の古い競技マラソンであるボストンマラソンを走ることが私にとっての生きがい」と熱く語る山田さんです。



書道とコーラスで、青春!

たけこ
栃木 多計子さん(高輪在住)

書道とコーラスの稽古を続けて20数年。コーラスでは全国のコンテストにも参加していますが、今年は震災の影響で発表会が中止になりました。しかし、もう次回に向けて練習を始めているそうです。

今までに習った曲は50曲以上、その中で一番印象に残っている曲は小林秀雄作曲の『落葉松』。元気に長く続けるコツを伺うと「休まないで、自分のペースですております」とのこと。「コーラスも書道も姿勢が大切」と、まっすぐ伸びた背筋でインタビューに答えてくださいました。今年91歳の栃木さん。



白金高輪グリーンミュージックフェスティバル 出演者募集!

わおん
輪音～音楽で結ぶ地域の絆～

日 時……………平成23年11月26日(土)13:30～16:30(予定)
会 場……………明治学院大学 アートホール(白金台1-2-37)

地域の様々な世代の人たちが集まりふれあい、一緒に音楽を楽しむことで地域の絆を深めるイベント!昨年11月に開催したフェスティバルは、地域のアマチュア出演者の演奏をはじめ、オリジナルソング「Viva高輪」の披露、地域の皆さんと演奏家の合奏など多彩な音楽祭でした。子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が来場し、地域の皆さんと一緒に楽しみ、作り上げるフェスティバルとなりました。今年度も開催に向けて、出演者を募集します。



(写真は22年度のもので)

【申し込み・問い合わせ】

応募用紙に必要事項を明記のうえ、8月31日(水)までに(必着)持参、FAXまたは郵送でご提出ください。

応募用紙は区のホームページからダウンロードできるほか高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センター等で配布します。

高輪地区総合支所協働推進課地区政策担当 TEL 5421-7123

(1) アマチュア出演者の募集

高輪地区で活動するアマチュア出演者を募集します!

- ・募集数 …………… 10組程度(応募者多数の場合は選考) ※演奏時間は1組10分程度
- ・対象 …………… 高輪地区在住・在勤・在学者 ※グループの場合は1人以上含むこと
- ・その他 ①「高輪から元気・勇気を発信!」をテーマとして、東日本大震災被災地の復興応援とともに高輪地区の絆を深めます。
- ②9月上旬に出演者を決定する予定です。
- 10月5日(水)に打合せ、11月20日(日)にリハーサルを高輪区民センターで行う予定です。

(2) 「みんなで歌おう♪」参加者の募集

明治学院大学愛好会吹奏楽部の演奏に合わせて、「マル・マル・モリ・モリ!」(予定)など元気が出る歌をみんなで一緒に歌います。

- ・募集数 …………… 10組20人程度(申込順)
- ・対象 …………… 高輪地区在住・在学の子ども(おおむね15歳以下)とその保護者 ※未就学児の場合は、必ず保護者が同伴のうえ参加してください。小学生以上は1人でも参加できます。
- ・その他 …………… 10月から2回程度の合同練習を行うほか、11月20日(日)にリハーサルを行う予定です。

「港区基本計画」 高輪地区版計画書の後期計画の見直しを行います



【地区版計画改定グループ 会議の様子】

高輪地区版計画書

港区基本計画は、全区的な計画である「分野別計画」と、各地区総合支所ごとに策定した「地区版計画」で構成されています。「高輪地区版計画書」は、地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより高めるため、区民参画組織からの提言を踏まえ、平成21年度から平成26年度までの6年間を計画年度として策定した計画で、前期3年目(平成23年度)に見直しを行います。

区民参画組織

計画見直しに向けた提言を行うため、高輪地区の区民参画組織であるタウンミーティングTAKANAWA「地区版計画改定グループ」では、平成22年度から検討会などの活動を続けてきました。

区民参画組織提言式

平成23年7月12日に区役所において、各地区区民参画組織のみなさんから区長に提言する提言式を開催し、高輪地区の「地区版計画改定グループ」から、検討の成果として19の提言が発表され、提言書が提出されました。

策定に向けたスケジュール

高輪地区総合支所では後期計画(平成24年度～平成26年度)素案を策定し、平成23年11月以降に区民のみなさんに公表するとともに、意見募集を行います。平成23年度末には後期計画(平成24年度～平成26年度)を策定する予定です。

【問い合わせ】 高輪地区総合支所協働推進課地区政策担当 TEL 5421-7123

地域での活動写真を募集しています!

平成23年1月から2月にかけて、高輪区民センター 2階にある展示ギャラリーにて「高輪地区 地域の魅力いっぱい写真展」を開催しました。地域のコミュニティが希薄になったと言われている現代社会ですが高輪地区では元気に活動している人たちがたくさんいらっしゃいます。「人のつながり」と「笑顔」をテーマにその人たちが、地域の魅力を伝え・支える人たちの笑顔や活動を写真で紹介したのがこの写真展です。次回の写真展に向けて、「わたし(たち)の活動も紹介したい!」という方を探しています。写真の受付は随時しています。皆さんからのすてきな写真をお待ちしています!

高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 TEL 5421-7621



14号表紙「ママのお靴」は、フランソワ・ジレの作品「小さなマリー (Marie on the shoes)」(1974年)を題材にしたものです。Francois Gillet:フランソワ・ジレ 1949年フランス生まれ スウェーデン(ストックホルム)拠点の写真家

- 安藤 洋一(チーフ) 高橋 秀華(サブチーフ)
- 谷知 貞江(サブチーフ) 白石 美穂子
- 伊関 則子 河村 保弘
- 坂下 翠子 滝川 まりえ
- 中嶋 路子 三村 晴子
- 安 勢津子 吉田 由紀子

●「私の自慢」の取材では、人それぞれに歴史あり、を痛感しました。今回はどんなエピソードに出合えるか、楽しみです。(谷知)

●東日本大震災を経て安心、安全が絶対的なものではないということ、日頃の備えの大切さ、地域近隣の助け合いの重要性を改めて認識しました。(吉田)

●色々な方面で活躍しているという地域の魅力を編纂の過程で知るにつけ、住民の一人として、誇りと喜びを改めて実感致しました。(三村)

●「私の自慢」の取材では、人それぞれに歴史あり、を痛感しました。今回はどんなエピソードに出合えるか、楽しみです。(谷知)

●東日本大震災を経て安心、安全が絶対的なものではないということ、日頃の備えの大切さ、地域近隣の助け合いの重要性を改めて認識しました。(吉田)

全部ウソです!!

騙されないで!!

◎いまだにオレオレと電話をかけてきます。息子・孫を装い「携帯電話の番号が変わった」と事前に連絡し、翌日に「仕事をミスした、金を振り込まないとクビになる」などと脅かします。

◎警察官、銀行職員をかたって電話をかけてきます。あなたの口座が悪用されています。

高輪警察署
TEL 3440-0110
防犯係 2612

防犯対策
キャッシュカードは絶対に他人に渡さない。／息子さん・お孫さん本人に、今までの携帯電話に電話をかけ確認する。／確認が出来るまで、催促されても振り込まない。

消防団員・災害時支援ボランティア募集

大震災発生時、あなたの力が必要です。地域の役に立ちたいと思った方、お気軽にご連絡ください。多くの方の入団・登録をお待ちしております。

問合せ先 高輪消防署防災安全係 TEL 3446-0119

編集だより

●今の時まで読んだ本の中には、地域に関わる素晴らしい情景が数多く在り、驚嘆いたしております。(明石)

●この頃、地域の人のつながりの大事さを実感しています。「みなとつば」でも、地域の方の紹介を多くして、何かつながるきっかけになればと思っています。(安藤洋)

●あの横溝正史は大の電車嫌いで、止む無く乗る時はいつもお酒の入った水筒を首から提げていた、石川淳は中学通学の電車でいつも出勤途中の森鷗外と乗り合わせていた、保坂和志は大の猫好きで、作品の中で猫が、重要なポイントをしめていた等々、面白い発見が沢山ありました。(伊関)

●輝く生命力と才能をお持ちの白川義員さん。祖国と地球の大地・自然・人間への愛に圧倒されました。(河村)

●地震以後 からの揺れが 収まらず 思考回路も 乱れに乱れ(坂下)

●初めて、みなとつばの編集に参加し、又新鮮な高輪・白金を見つけた。自分の住む地域をもっと良く知り、地域コミュニケーションの大切さを伝えたいと思います。(高橋)

●エチオピア料理、生まれて初めての味でした。おかずをインジェエラで包んで食べるのも楽しいです。本格的なエチオピアレストラン(クインシーバ)が、中目黒にあるそうです。ワットとインジェエラ食べたい、いつか行ってみたいです。(滝川)

●いつも皆様との取材で、楽しいひとときを過ごさせていただいております。これからもずっと楽しみたいものです。(中嶋)

●色々な方面で活躍しているという地域の魅力を編纂の過程で知るにつけ、住民の一人として、誇りと喜びを改めて実感致しました。(三村)

●「私の自慢」の取材では、人それぞれに歴史あり、を痛感しました。今回はどんなエピソードに出合えるか、楽しみです。(谷知)

●東日本大震災を経て安心、安全が絶対的なものではないということ、日頃の備えの大切さ、地域近隣の助け合いの重要性を改めて認識しました。(吉田)

毎週水曜日は午後7時まで受付 ※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085